Press Release

2026 年 10 月 22 日
フューチャー株式会社

フューチャー、国内セキュリティ研究の中核となる学術シンポジウム「コンピュータセキュリティシンポジウム 2026（CSS2026）」において 2 論文が受賞

フューチャー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 谷口友彦、以下フューチャー）のセキュリティ専門チーム、サイバーセキュリティイノベーショングループに所属する、シニアアーキテクト 篠原俊一、アーキテクト 中岡典弘の主著論文が、国内セキュリティ研究の中核をなす学術シンポジウムである「CSS2026」※1 において**CSS 最優秀論文賞**、**OWS 研究賞**を受賞しました。

「コンピュータセキュリティシンポジウム（CSS）」は、「情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会」と「セキュリティ心理学とトラスト研究会」が共催する、国内セキュリティ研究の中核をなす学術シンポジウムです。2026 年 10 月 19 日（月）～23 日（金）の 5 日間にわたり浜松市で開催される「CSS2026」において、2 論文の発表を行いました。

■受賞論文

【CSS 最優秀論文賞】脆弱性検知条件の供給源の再検討 ―検知精度による NVD・VulnCheck・一次データソースの比較と LLM による構造化

発表者：フューチャー株式会社　アーキテクト 中岡 典弘
（共著：シニアアーキテクト 篠原 俊一）

【研究概要】

脆弱性スキャナが脆弱性を検知するには、どの製品のどのバージョンが影響を受けるかという「検知条件」が欠かせません。本研究では、脆弱性データベース NVD で検知条件が付く CVE の割合が、2023 年までの 100%から 2026 年には 56.1%まで下がったことを示しました。さらに、データの供給元だけを変えて同じ環境を検知する実験により、検知条件が付いていても検知精度は製品によって大きく異なることを明らかにし、供給元を製品ごとに検知精度で選ぶ必要性と、LLM で一次情報を構造化する方式を示しました。

【受賞コメント】

フューチャー株式会社 サイバーセキュリティイノベーショングループ　アーキテクト　中岡 典弘

この度は名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。本研究は、OSS の脆弱性スキャナ Vuls とその脆弱性データベースを開発・運用する中で生まれた「このデータソースを、この先も同じように信頼してよいのか」という実務上の問いから始まりました。脆弱性の公開件数が増え続けるなか、検知の正しさを支えるデータの質はますます重要になっています。今回の成果を Vuls や FutureVuls※2 の改善に生かし、より確かな脆弱性管理に貢献できるよう取り組んでまいります。

【OWS 研究賞】脆弱性情報の上流は安定していない：公開前検査による 116 日間の全数観測

発表者：フューチャー株式会社　シニアアーキテクト 篠原 俊一
（共著：アーキテクト 中岡 典弘、シニアアーキテクト 神戸 康多）

【研究概要】

脆弱性スキャナ Vuls の脆弱性データベースは、40 以上の公開データソースから全自動で構築・公開されています。本研究では、公開直前に前回版との差分を検査し、大きな変化があれば公開を保留する「公開前検査」を本番環境に導入し、116 日間・943 回のビルドを全数観測しました。検査が止めた 69 件を Git 履歴で全件追跡した結果、59 件は上流データソース側の変更であり、月次データの消失や大規模な書き換えが 2 日に 1 件の頻度で起きていることを示しました。欠陥のあるデータベースの公開を 2 回、事前に防いでいます。

【受賞コメント】

フューチャー株式会社 サイバーセキュリティイノベーショングループ　シニアアーキテクト　篠原 俊一

この度はOWS2026研究賞をいただき、光栄に思います。本研究は、脆弱性データベースを毎日自動で作り続ける運用の中で「上流の情報は思ったより安定していない」と気づいたことから始まりました。止まった全件を履歴でたどり切れたのは、昨年発表した全自動ビルド基盤と、共著者をはじめ Vuls の開発・運用に関わる皆さんのおかげです。自動の検査と人の判断をどう組み合わせるかはまだ途上ですが、脆弱性情報を扱うすべての方の参考になれば幸いです。

フューチャーでは、テクノロジーに特化した専門チームと、物流・金融・流通・製造・エネルギーなどあらゆる業界に精通した事業部が協業し「基礎研究」と「社会実装」の両輪で、AI をはじめとする先端技術の利活用を推進しています。

セキュリティ専門チームであるサイバーセキュリティイノベーショングループは、オープンソースでの技術公開や研究成果についての発信を積極的に行うとともに、企業全体のセキュリティをデザインするコンサルティングサービスや、脆弱性管理サービス「FutureVuls」を提供してきました。今後も、先鋭的な研究とサービスへの実装を通じて、あらゆる組織のセキュリティレベル向上と新たな価値創造に貢献します。

※1.「CSS2026」公式サイト：https://www.iwsec.org/css/2026/index.html

※2.「FutureVuls」はフューチャー株式会社の登録商標です。製品サイト：https://www.vuls.biz/

■お問合せ先
フューチャー株式会社　広報担当：松本、石井
TEL：03-5740-5721
お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php